

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★本校初開催 Global Studies Program 大成功！★

☆☆Global Studies Program とは☆☆

Global Studies Program は、『将来 global な社会で活躍する人材の育成』を目的とした株式会社 ISA 様によるプログラムです。プログラムを通じて 1 人 1 人が自らの「個性」と「才能」に気付き、global な課題に向き合い「リーダーとしてのアクション」を起こすマインドを身に付けることを目指します。授業はすべて 100%英語で行われ、生徒が中心となって進んでいきます。全体をリードするファシリテーターと小グループをリードするグループリーダーの進行で行われました。ファシリテーターとグループリーダーは日本の大学、大学院に在籍している留学生や海外のトップ大学の学生です。それぞれ、英国、ナイジェリア、パキスタン、インドネシア、ベトナム、ミャンマーの出身の方でした。ディスカッションを通して、日本の生活では触れることのできない考え方や価値観を学ぶ貴重な機会となりました。

本校の1、2年生の希望者26名が 2/20(木)・21(金)・22 日(土)の3日間、前橋国際大学を会場に実施されました。2/6(木)に本校で実施した事前オリエンテーションでは、外国人留学生との英語でのコミュニケーションに不安を感じている様子が見受けられましたが、当日は留学生の方々も気さくに英語で話してくれ、生徒たちの緊張も徐々にほぐれていきました。プログラムの最終日には留学生と打ち解け、積極的に英語でコミュニケーションをとる姿がたくさん見られました。生徒たちも英語というツールを使って、さまざまな国の人々とコミュニケーションを取ることができ、満足感とともに自信がついたようです。



事前オリエンテーションの様子



～全体の様子～

	1 コマ目	2 コマ目	3 コマ目	4 コマ目
Day 1	自己紹介 プログラムの目標の設定	英語でたくさん 質問しよう！	外国人留学生による プレゼンテーション	ディスカッション “Positive Mindset”
Day 2	ディスカッション “Self-awareness”	ディスカッション “Leadership”	ディスカッション “将来の目標設定”	ディスカッション “学ぶことの意義”
Day 3	プロジェクト 自分たちの学校の 魅力を世界に発信 しよう！	プレゼンテーショ ン用意	個人プレゼンテーシ ョン (将来の夢)	クロージング セレモニー

～全体のプログラム～

☆☆参加した生徒の感想☆☆

- 外国人の先生とたくさん話せて楽しかった！1 日目は(英語が)全然聞き取れなかったけど、最終日は聞き取れるようになった！
- 外国人とのコミュニケーション能力が自分は高いなと自信が持てた。国々で訛りがあって、色んなアクセントがあって面白いと思ったし、もっと色々な人と英語でコミュニケーションをとりたかった。
- 英語しか話せない環境でプログラムが進んでいたの、英語で話す勇気と完璧な言語でなくても自分の考えを伝える能力を得たと思います。失敗をしてもいいと何度も言ってくれたから、失敗を恐れなくなりました。
- 最後のプレゼンテーションは一人一人が自分自身の考え(将来の夢)を英語で話していて、学校ではあまり見ない光景だったので記憶に強く残りました。



写真①



写真②



写真③



写真④

本校で初の開催ということで、開催に必要な人数が集まるか不安があったなか、準備がスタートしました。7 月に実施した説明会には合計 40 名を超える生徒が参加し、無事に開催が決定しました。当日は一生懸命英語で相手に意見を伝えようとしている生徒の様子を見ることができました。また、最後の堂々としたプレゼンテーションに感動しました。3日間お疲れさまでした。また、来年も開催できればと思います。今回、参加した生徒たちに是非様子を聞いてみてください！次回の参加をお待ちしています！(GSP 担当英語科職員 佐藤 綾華)

★教頭より★ この GSP は高校入試の家庭学習期間に行われました。8 日も登校のない期間に 3 日間も海外留学疑似体験ができたことは有効であったと思います！私の初海外は大学生時の英国一人旅でした。授業では聞いたことがない英国特有の発音に苦しみながらも、カフェやレストランで注文が通じただけでも嬉しく感じたのを覚えています。理系に進む方も文系に進む方も英語は必須です！会社や研究室で普通に英語を使う時代です！現在、円安の影響で欧米ではラーメン 1 杯 3,000 円もかかるようですが、ぜひ、高校や大学生のうちに海外を経験し、自分の視野や可能性を広げてもらいたいです！教頭(英語科) 星野 亨

★校長より★ 少し前に昔の教え子と話す機会がありました。県内の大学を卒業し今は会社員をしているのですが、オンラインや出張で海外の方と仕事をしているとのことでした。外国語が堪能だったという記憶がなかったので、思わず、「どうやって会話しているの？」と聞くと当たり前のように「英語です。」と答えていました。皆さんも将来、海外の方と仕事をする場面がたくさんあるでしょう。若い時から、積極的に会話しようとする姿勢と度胸を持つことが大切なのかなと思います。もし GSP のような機会がありましたら、普段の授業とは違う経験ができますので活用してみてください。校長 原 拓史